

平成 24 年（2012 年）の磐梯山の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○ 2012 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1 ①、図 3、図 6）

剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁からの噴気の高さが、1 月 27 日と 2 月 14 日に一時的に 200m となりましたが、その他は概ね 50m 以下と、噴気活動は低調に経過しました。

1 月 18 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により実施した上空からの観測では、沼ノ平及び山体北側火口壁の噴気及び高温域¹⁾の状況に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況（図 1 ②～⑥）

火山性地震は少ない状況で経過しました。

6 月 25 日 05 時 22 分と 11 月 7 日 11 時 15 分に振幅の小さい火山性微動が発生しました。継続時間はそれぞれ約 45 秒と約 35 秒でした。

火山性微動が発生した期間を含めて、空振計及び表面現象に変化は認められませんでした。

・地殻変動の状況（図 4）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

※この資料は、気象庁のデータその他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 23 情複、第 492 号）。

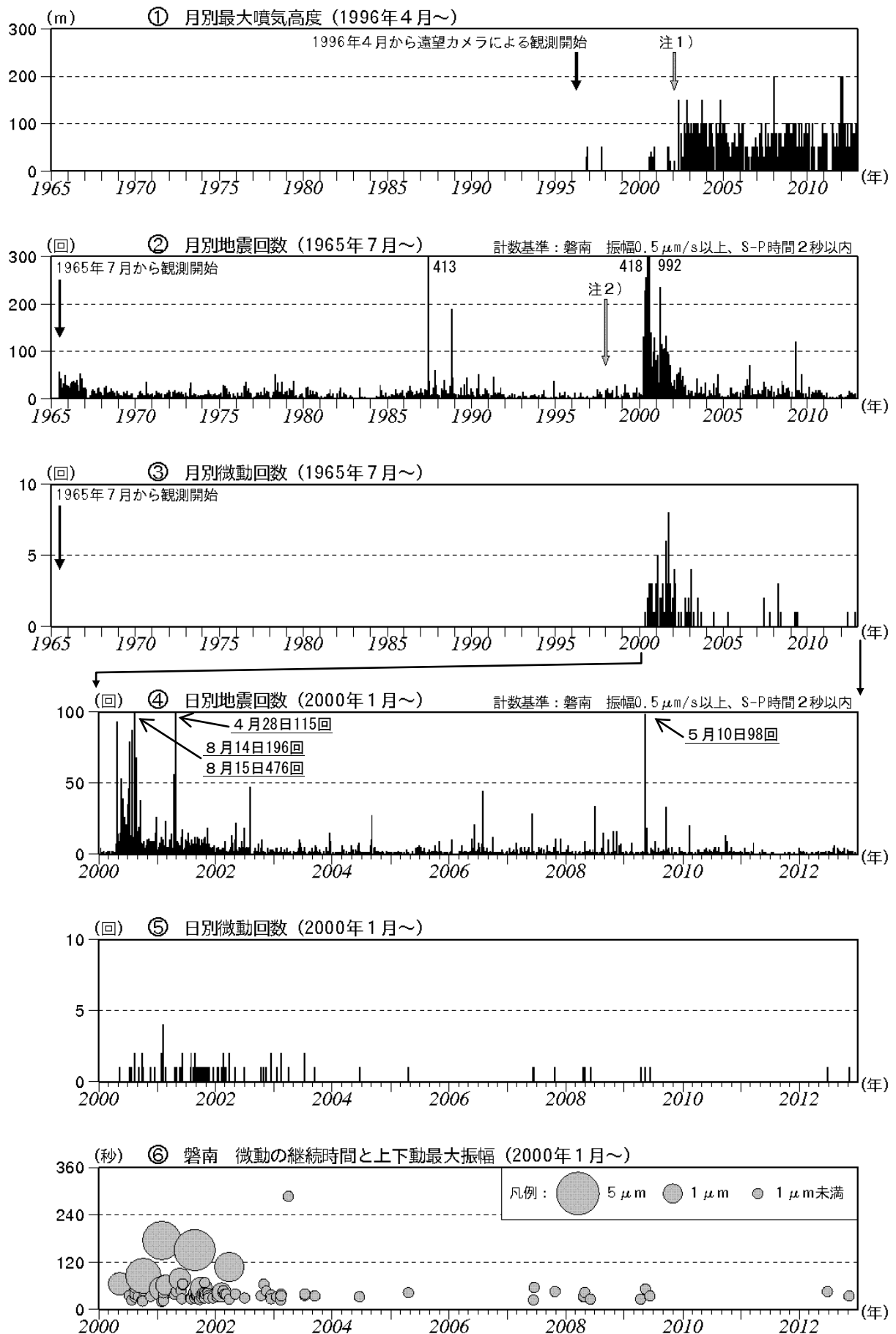


図1※ 磐梯山 火山活動経過図 (1965年7月～2012年12月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以下からS-P2秒以下に変更しました。

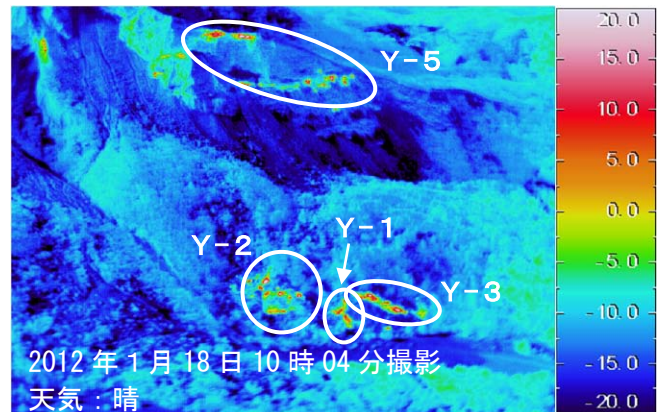
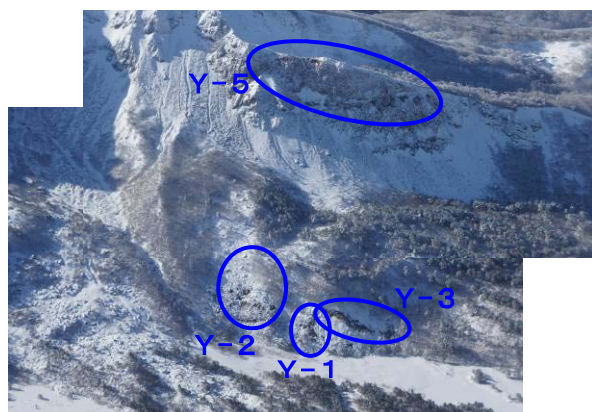
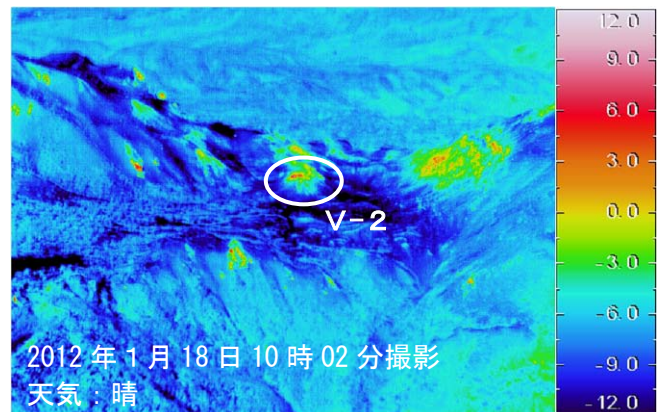
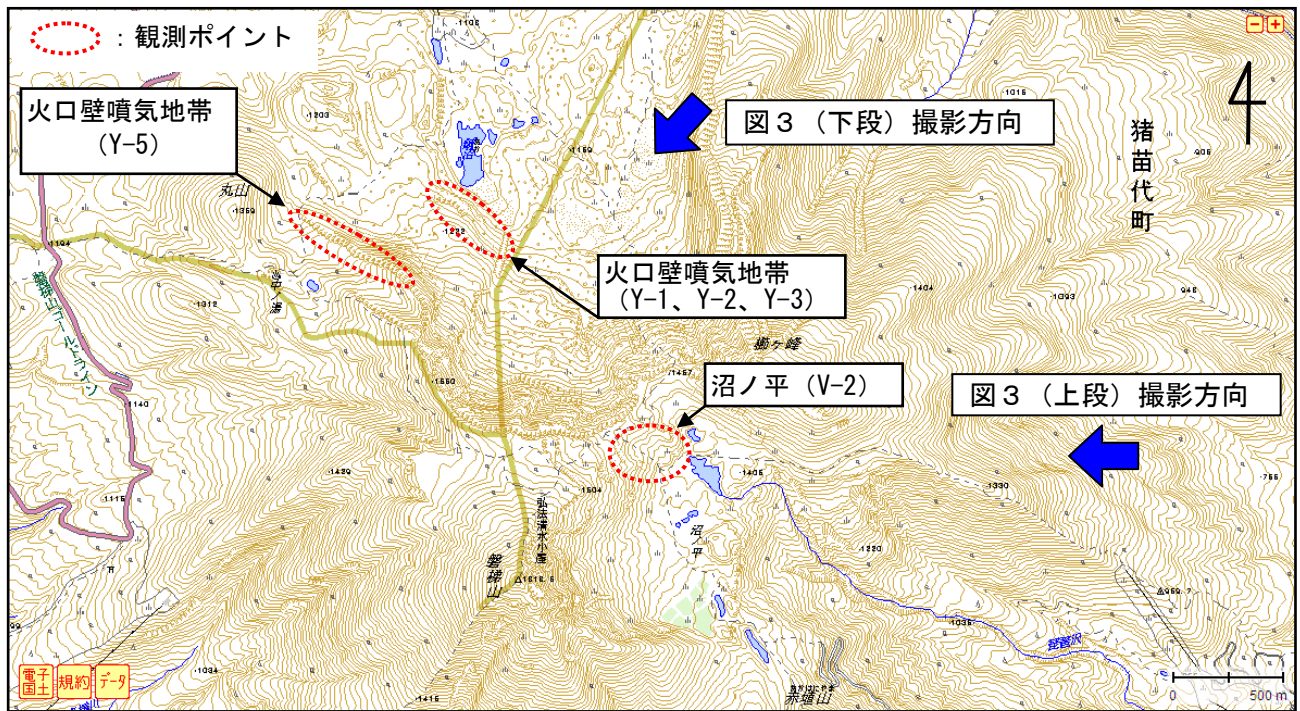


図3 磐梯山 可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右） 2012年1月18日撮影

上段：沼ノ平（V-2）周辺

下段：火口壁噴気地帯（Y-1、Y-2、Y-3、Y-5）周辺

・実線丸で囲んだのが地熱域で、特段の変化はありませんでした。それ以外の箇所温度が高く表現されているのは、日射による影響と考えられます。

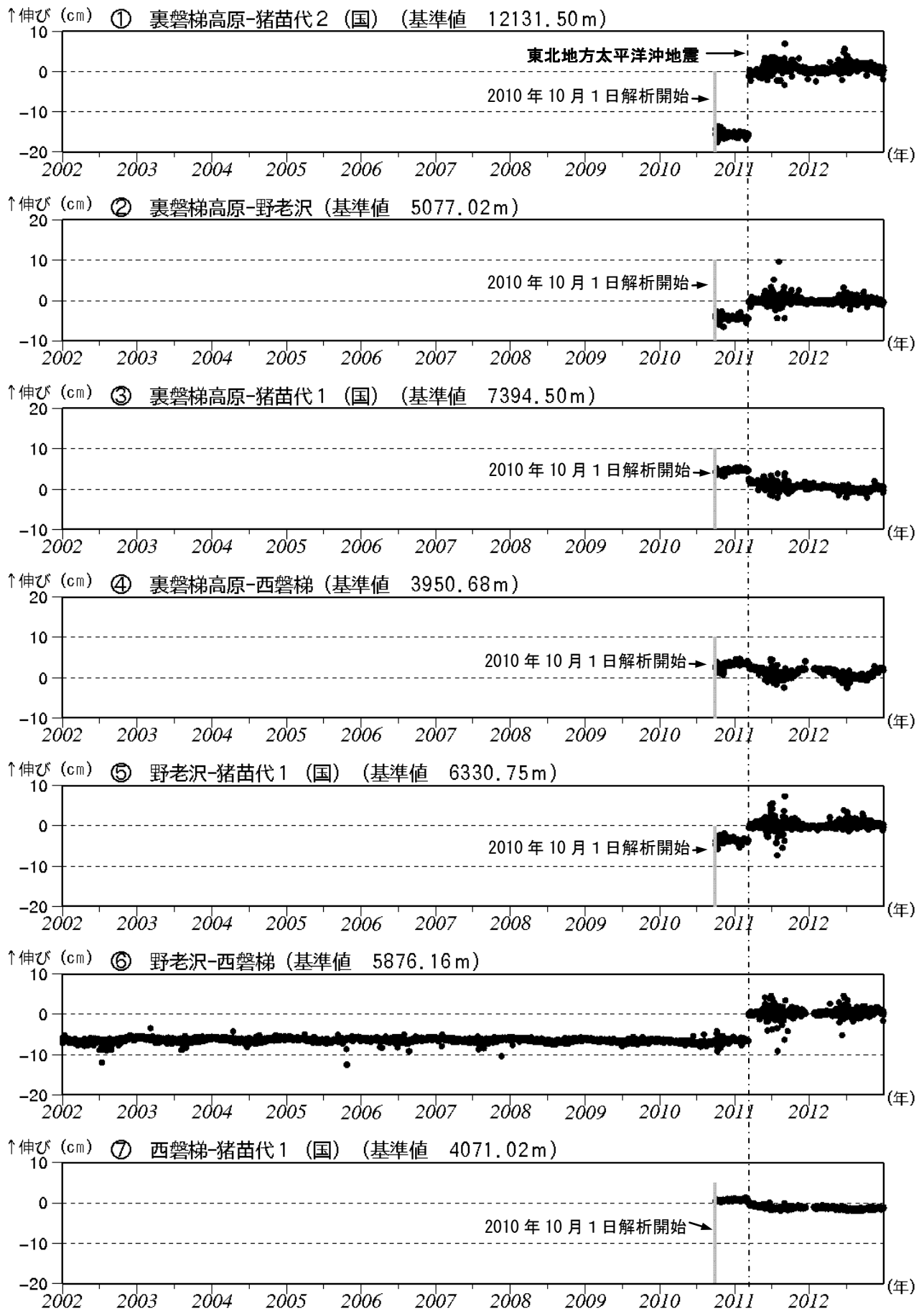


図 4* 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2012 年 12 月)

- ・ 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ ①～⑦は図 5 の GPS 基線①～⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。

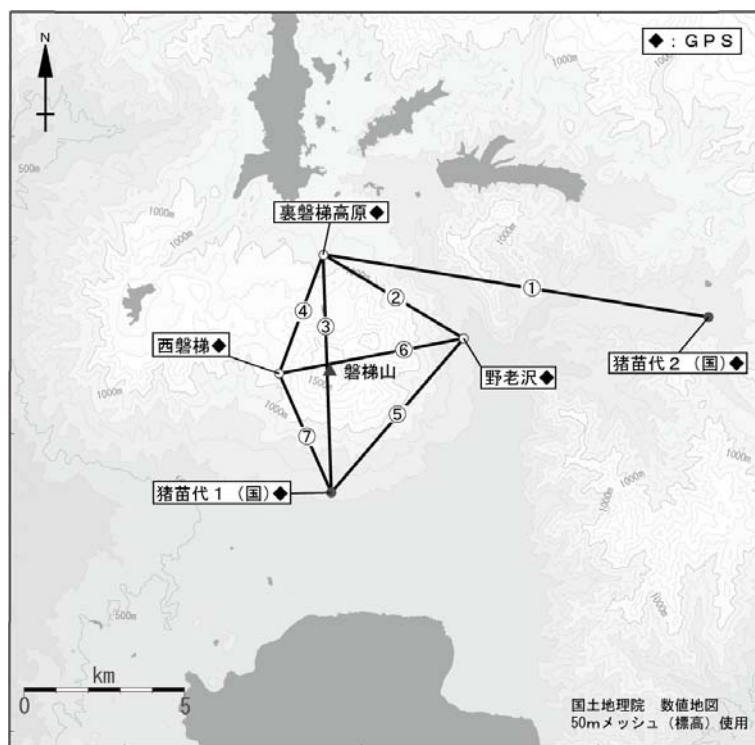


図 5 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院



図 6 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状態（2月14日08時45分頃）

- ・ 剣ヶ峰（山頂の北約7km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが山体北側火口壁からの白色噴気で、高さは200mです。

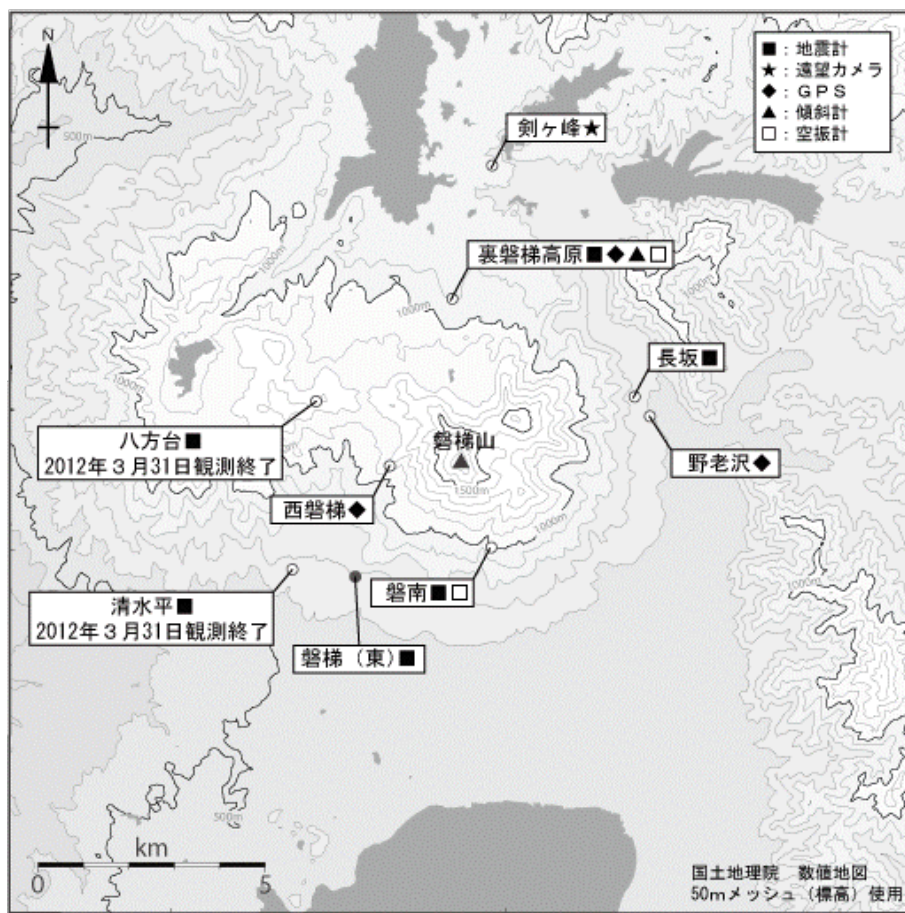


図 7 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

表 1 磐梯山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	磐南	37° 35.04′	140° 04.79′	1000		1965. 4. 1	短周期 3 成分 2000年11月2日：現在の場所に移設
	清水平	37° 34.78′	140° 01.81′	690		2000. 10. 11	短周期 2 成分 2012年 3 月31日：観測終了
	八方台	37° 36.78′	140° 02.16′	1260		2000. 11. 8	短周期 2 成分 2012年 3 月31日：観測終了
	長坂	37° 36.84′	140° 06.93′	650		2005. 12. 8	短周期 3 成分
	裏磐梯高原	37° 38.01′	140° 04.20′	902	-98	2010. 9. 1	短周期 3 成分 ポアホール型
空振計	磐南	37° 35.0′	140° 04.8′	1000		2000. 11. 2	
	裏磐梯高原	37° 38.0′	140° 04.2′	902	3	2010. 9. 1	
傾斜計	裏磐梯高原	37° 38.0′	140° 04.2′	902	-98	2011. 4. 1	
GPS	野老沢	37° 36.6′	140° 07.2′	613		2000. 9. 6	1 周波
	西磐梯	37° 36.0′	140° 03.3′	1189		2000. 9. 7	1 周波
	裏磐梯高原	37° 38.0′	140° 04.2′	901	4	2010. 10. 1	2 周波
遠望カメラ	剣ヶ峰	37° 39.6′	140° 04.8′	810		1996. 4. 1	